

NPO 法人 やまぼうし自然学校 ニュースレター

2014 年度 秋号（9月30日発行）

きのう、今日、あした。自然とともに生きる暮らし方を見つめていきます。



（左）樹皮剥いたスギ（東京校）／（右上）はせじいとブランコ（長野校）／（右下）すぶぬれ川遊び（埼玉校）

代表理事よりご挨拶



加々美貴代（がみちゃん）

「五感：目・耳・舌・皮膚を通して生じる五つの感覚。

視覚・聴覚・味覚・嗅覚・触覚。人間の感覚の総称」

子どもたちと何気なく歩く散策路。私には感じ取れて、子どもたちには感じ取れない自然からの情報。人間が持っている感覚だけでも、日々意識しなければ発達しないものだと思える。歩きながら、しゃべりながら

も、耳から聞き取る力。鼻から嗅ぎ取る力。「ながら」ができるから、自然体験活動は様々な感覚を複合的に鍛えることができる。

「聞こえた？がみちゃんはおしゃべりしていても、耳で鳥の声聞こえたよ！」

さあ、森へ出かけよう。秋は鼻と口が特に鍛えられるかも。

発行：特定非営利活動法人 やまぼうし自然学校

住所：〒386-2204 長野県上田市菅平高原 1223-5751

TEL：0268-74-2735 FAX：0268-74-2795 Email：info@yamaboushi.org

URL：http://yamaboushi.org

スタッフよりひとこと



保母 裕美（ほぼちゃん）

次女（小2）の週末の宿題日記。毎週のように「きのう、すがだいらへ行って〇〇しました。」と。一緒に楽しんでくれることがうれしいのですが、先生にはどう思われているのか？！お父さんは子どもの頃、週末に遊びすぎて月曜日はよく熱を出していたとか・・家族の体調管理には気を付けたいと思います。



古川 明美（けみちゃん）

「バイバイ！また会おうね！」涙を流しながら大きく手を振り、バスを見送る学生達。そんな場面が何度も見られたサマーキャンプ。アシスタントとして参加した学生達にも、いつになく多くの感動体験があった。自ら意思を持って動ける人は、目の輝きが違う。純粋な学生達に、多くのことを学んだ夏だった。



長谷川 功（はせじい）

9月30日で66歳になります。見かけ、気力は元気で、体力はいかんともしがたく、菅平の寒さが身に凍みます。厳寒の菅平を楽しみたいのですが…。春よ来い、早く来い、頑張ります。



古川 誠（じゃが）

夏があっという間に過ぎて行った。ここに来てからの夏はホントに早い。でもたくさんの笑顔に出会い、たくさんのチャレンジに出会い。また季節はめぐって、冬がやってきます。季節を自分の中に積み上げて過ごしていきたい。



佐藤 美央（みろりん）

ひょんなことから9月下旬、相撲観戦に行くことに。自ら見に行くのはなかなかだけど、一度は見てみたいもの。いくつになっても新しいことにチャレンジするのが楽しくてたまらない。



後藤 かおり（ごっちゃん）

人生で初めてでした。こんなに天気に踊らされた夏を過ごしたのは。でも一つ目標が出来ました。時間はかかるかもしれないけど、どんな天気でも、踊られるのではなく、自ら踊り、皆さんと楽しむようになること♪頑張ります。



石川 順子（じゅんこさん）

真夏の秩父で108名の児童ときこり体験を委託実施。伐倒したて、樹高20m超、ひとかかえもあるスギをベンチほどの長さに玉切りして、セーの！で樹皮はがし。歓声が林内に響く。みずみずしくてすべすべの樹肌。樹も生きている！と実感した瞬間だった。



仲川 好乃（よっちゃん）

この頃幼児がスマホをスワイプ&タッチ。その横で真剣な顔で覗きこむ母親そんな光景をたびたび目にします。子育てにもスマホの時代なんですね。絵本をみながらおしゃべりしている親子のほうが微笑ましいのになあ～



瑞慶覧 明子（すけちゃん）

人の言葉。『目標とは今（何をするか）を決めるためのもの。そして、感情が動くものこそ、目標。』ピンッとくる人、仲間になりましょう！よりよい社会のために動く人づくり。目標をもって勉強し、遊び、働き、試行錯誤するとき、人は輝く。熱いひと交わる村上暮らし、もうすぐ1年。

4・5・6・7・8月の実施事業

■事務局

林政審議会（4月11日）、学習協誘客委員会会議（4月18日）、森林ボランティア・NPO連携推進会議（4月18日）、上高地開山祭（4月27日）、やまぼうし自然学校理事会（5月6日、8月30日）、インタープリター研修会（4月30日、5月5、12日）、上高地ガイド協議会総会（5月14日）、CONE理事会（5月28日）、CONE指導者委員会（6月5日）、根子・四阿山保全協議会総会（6月12日）、信州外あそびミーティング（6月28、29日）、学習旅行誘致推進協議会真田支部総会（7月8日）、上小地域観光戦略会議（7月31日）

■体験学習

5月：品川区立中実地踏査（7-9日）、葛飾区立中実地踏査（7、8日）、高岡市立光陵中（7日）、むさし野学園小（13-15日）、東京国際学園高（13日）、伊那市立東部中（14日）、富山県立福岡高（14日）、東京学芸大附属竹早中（15日）、武蔵野東小（20日）、豊明小（22日）、大田区立池上小（23日）、流山市立常盤松中（25、27日）、柏市立手賀中（25-27日）、大田区立おなづか小（26日）、我孫子市立湖北中（26日）、青山学院中（27日）、明治大学付属明治中（28-30日）、大田市立荊川西小（28日）、流山市立東部中（29日）、我孫子市立湖北台中（29日）、深谷市立川本中（30日）、流山市立東部中（31日）、**6月**：鴻巣市立鴻巣中（1-3日）、東京共育学園高（3、4日）、中野区立若宮小（3日）、穎明館（4、5日）、葛飾区立綾瀬中（4日）、品川区立鈴ヶ森中（4日）、品川区立大崎中（5日）、我孫子市立我孫子中（6、7日）、葛飾区立高砂中（6、7日）、葛飾区立上平井中（9日）、品川区立品川学園（9、10日）、流山市立八木中（11-13日）、葛飾区立奥戸中（11日）、品川区立荏原第六中（11日）、野田市立福田中（11、12日）、葛飾区立堀切中（12日）、大田区立入新井第二小（12日）、野田市立野田中（13日）、品川区立日野学園（16日）、葛飾区立葛美中（17日）、葛飾区立常盤中（18日）、品川区立浜川中（18日）、清泉小（19、20日）、葛飾区立立石中（20、21日）、葛飾区立小松中（24日）、品川区立特別支援学級（25、26日）、葛飾区立一之台中（26日）、自由学園女子部中等科（26、27日）、久喜市立菖蒲南中（27、28日）、東御清翔高（27日）、葛飾区立中川中（30日）、品川区立富士見台中（30日、7月1日）、**7月**：品川区立豊葉の杜学園（2日）、品川区立八潮学園（2、3日）、国立音大附属小（3日）、葛飾区立新小岩中（8日）、品川区立東海中（8、9日）、上田市立第二中（9日）、葛飾区立金町中（9日）、葛飾区立大道中（10日）、葛飾区立双葉中（13、14日）、日本体育大学（14、15、17、18日）、駒込中（14、15日）、普連土学園高（16-18日）、所沢市立富岡小（17日）、学芸大附属世田谷中（17日）、所沢市立中富小（18日）、所沢市立西富小（19日）、所沢市立荒幡小（19日）、ふじみ野市立駒西小（22日）、創価高（22、23日）、光塩女子学院・中等科（22、24、31日、8月2日）、桐光学園中男子・女子（22-24日）、ふじみ野市立上野台小（23日）、川越市立霞ヶ関小（23日）、所沢市立上新井小（23日）、所沢市立北秋津小（23日）、上田養護学校（24日）、川越市立大東東小（24日）、所沢市立若松小、並木小（24、25日）、羽生市立川俣小（24日）、所沢市立若狭小（25日）、羽生市立川俣小（25日）、所沢市立泉小（25日）、

所沢市立美原小（25日）、富士見市立ふじみ野小（25日）、光塩女子学院・高等科（27日、8月1日）、日大豊山女子中（27日）、富山県立福岡高（28、29日）、所沢市立椿峰小（29日）、城西川越中（29日）、東洋英和女学院小学部（30日）、早稲田大学（7月27日-8月1日）、**8月**：開智小（20日 東京）、日体荏原高（25、27日）、明治学院大（30、31日）

■森でモリモリ遊び隊／フォレストキッズ／キャンプ

遊び隊新年度説明会（4月19日）、遊び隊（5月24、25日、6月21、22日、7月12-13日、8月30-31日）、フォレストキッズ（5月24日、6月21日、7月12日）、サマーキャンプ in 信州（7月25日～8月21日）、やまぼうし原人キャンプ（8月11-13日）

■イベント

首都圏10周年記念イベント（4月3日）、東久留米自然散策会（5月10日）、西鎌倉自然観察会（協力、5月23日）、堂平登山観察会（共催、5月24日）、森の春探し&山菜採り（5月25日）、いつでもガイド（6月6日、8月8日）、横浜山手自然観察会（共催、6月26日）、森あちよびクラブ（6月21日、7月12日）、木曾川源流探検隊（8月23日 Green Gift Project）

■講座

神奈川シニア自然大学（4月22日、5月7、21日、6月11、26日、7月2、16日）、神奈川シニア自然大学ステップアップ（4月10日、5月22日、6月18日、7月10日）、彩の国シニア自然大学（4月9日、23日、5月14、28日、6月4、18日、7月2、9日 東京）、森を楽しむ講座・チャレンジコース／インタープリター養成コース（4月19、20日、5月1、8、15、17、18日、6月14、15、19、26日、7月3、5、6、10、17日、8月2、3日 東京）、やまぼうしインタープリター養成講座（4月9、13日、5月7、11日）

■委託

佐久アースデイ（4月19日）、みどりフェスタ（4月29日 東京）、上松屋（5月3-5日 クラフト）、上小地区森林祭（5月13日）、ワンパク大学（5月14-16日）、四つ葉の会（5月17日）、上田環境市民会議（5月17日）、上田市教委生涯学習課（5月18日、6月1、28、29日、7月13日 地域青少年育成指導養成講座）、セレーノハ木沢（5月18日 デイキャンプ）、CONE（5月24日 春のキッズフェスタ）、別所線と走ろう（5月24日 クラフト）、長野県短大（5月25日 ネイチャーゲーム）、長野地方事務所（5月25日）、丸子北中（5月29日、6月5、19日、7月3、10日 コスモス大学）、上田市森林整備課（5月31日 上小地区森林祭）、峰の原トレランイベント（6月8日 ??）、黒川ネイチャーボランティア（4月6日、5月10日、6月1日 森林整備）NE（2月16日 野外力検定）、小諸ミズオオバコ保全会議（6月8日、7月20日）、トレイルランレース&アウトドアミーティング（6月15日 クラフト、小枝パンなど）、染屋の森の会（6月16日 竹林整備&アウトドアランチ）、長和町保健センター（6月18日 親子ふれあい教室）、石塚サントラベル（6月21日、7月22日 根子岳登山）、森フェス実行委員会（6月28、29日、森フェス）

CONE(6月30日、7月1日 森のリトリート研修)、菅平保育園(7月10日 森遊び)、リコーラグビーチーム(7月11日 オリエンテーリング)、国際興業トラベル(7月24、25日 フロントキッズクラブ)、上山田育成会(7月27日 デイキャンプ)、向島様・天野様(7月27日 竹のおもちゃとロープワーク)、上小地方事務所林務課(7月29日 緑の少年団交流集会)、ホテル柄澤(7月30日 青山ビューティ学院)、長野県北信・東信教育事務所(7月31日 初任者研修)、上小林業振興会(8月1日 緑の少年団指導者研修会)、長野市引沢区(8月3日 デイキャンプ)、御代田自主保育の会(8月6日 クラフト&パンづくり)、長野朝日放送 NBS 親子自然体験教室(8月8日 釣り、野外料理、クラフトなど)、上松屋(8月9-11日 クラフト)、長野県環境保全研究所(8月11日 セミの抜け殻調査)、スカイフェスティバル(8月15日 クラフト体験)、上山田城腰自治会(8月23日 デイキャンプ)、あさまハイランドスポーツクラブ(8月31日 立科山登山)

森の青空結婚式・ご報告♪古川誠&明美♪

この度、やまぼうし自然学校スタッフの古川誠と、私古川明美(旧姓:吉岡)は3月1日に入籍し、9月14日、菅平高原にて『森の青空結婚式』を挙げました。

“結婚式をするならこんな形でやりたい!”と、ひそかに考えていた私たち。前例のないスタイルに、そんなことできるはずないと半分あきらめていたところ、やまぼうしスタッフはじめ、多くの会員さんの賛同をいただき、実現しました。

当日はタイトル通りの完璧な青空!
人前式は、手作りのバージンロードでスタッフはせじいが神父さん役。伴奏は会員の児玉さんと清水さん。司会はスタッフすけちゃん。宴は焼き火料理あり、窯ピザあり、燻製あり、地物のイワナあり!余興ではケーキ入刀ならぬ、薪入刀をしました。

このような式をしたいと考えたのは、これほど豊かな環境で、素敵な人たちに囲まれて、楽しいことをして生きているんだよ、ということ、大切な友達や家族に知ってもらいたかったからです。

私達のわがままにご賛同いただき、ご協力いただいたやまぼうし自然学校の会員さんとスタッフのみなさん!本当に本当に、ありがとうございました!まだまだ未熟な私達ですが、今後ともよろしくお願いします。



写真:前田 聡子

よみがえる記憶

サマーキャンプ in 信州。
今年も多くの子どもたち、そして活動を支えるキャンプアシスタントが、やまぼうし自然学校に集結しました。
最終コースに参加したアシスタント、うれしい秘話がありますのでご報告します。



友人3人と参加してくれたのは、短大の幼児教育科に通う1年生の女性。
やまぼうし自然学校が、学生募集の広報を依頼した大学の情報がきっかけでした。

アシスタントに応募した理由を聞けば、「子どもが好き」、「子どもたちと一緒に自然のことを学びたい」、「自然の大切さを子どもたちに伝えたい、その伝え方を学びたい」と。この思いはどこからくるのだろう? 笑顔がかわいらしい、魅力たっぷりの女性でした。

彼女が、キャンプのメイン会場である「自然体験の森」にいた時、よみがえってきた記憶。それは、やまぼうしの遊び隊隊員だった頃のことでした。今から8-9年前のことです。
「青竹クーヘンづくり」と「竹の弓矢づくり」。どちらも楽しかった思い出は、その後の小学校生活へとつながります。

「やまぼうしでの経験が学校での活動の自信につながった。」という彼女。
男の子がやることと思っていた火熾しは、遊び隊でやっていたから、キャンプのとき男の子と協力して楽しくできた。それがうれしかった。スキーは滑れないと思ったけど、やまぼうしでやっていたのでスキー教室でうまく滑ることができた。

その後、中学、高校での野外活動経験は特になかったものの、中学校ではテニス部、高校では生徒会、そして短大では、障害のある子どもたちの活動支援ボランティアをしているという。



子どもたちと五右衛門風呂



遊び隊隊員だった頃(真ん中!)

『今の自分に、小学校の時の野外活動と経験と記憶が生かされていると感じる。
これからは子どもたちに伝えていきたい。』

ながはり すみかさん。18才。
子どもたちと自然をつなぐ人がまたひとり、菅平で遊び、菅平を糧に、羽ばたいています!

取材、インタビュー:加々美 貴代

サマーキャンプの子どもたち特集！

キャンプ、一期一会。
あらゆることに、全身全力で挑む子どもたち。
だからこそ、その一瞬一瞬が、キラキラとかけがえのない輝きを放ちます。

3泊4日全8コース：7月25日～8月21日開催
サマーキャンプ in 信州 菅平高原



遊びたくてたまらん顔。



38人。
輪っかになって自己紹介！



手づくり風呂！



手づくりブランコ！



玉ねぎに奮闘中！



標高 1,300m の日の出！



キャンプ会議！



テント生活！

☆キャンプエピソード..1

緊張でうまく自分から周りに関わることができずにいた、1人参加で3年生のMちゃん。

初日の夜は寂しさで涙を流した。最終日の終わりの会の時、スタッフから「最後にみんなにありがとうの気持ちを伝えたい人？」と問いかけると、Mちゃんは少し躊躇しながら、小さい声で、それでも精一杯の気持ちで、「みんなが仲良くしてくれて、すごくうれしかった。」と言って、うれしさの涙を流した。

☆キャンプエピソード..2

1人参加の4年生のNちゃん。初日はとても楽しそうにしていたのに、2日目くらいからなんだか表情が曇りはじめた。そしてついにみんなの輪にも入らなくなり、座り込んでしまった。

どんなに周りの子が「一緒にやろうよ」と声をかけても、一步も動かない。すると1人の学生アシスタントが、「ちょっと話そう。」とNちゃんに声をかけた。そして二人は長い事話をしていた。

約1時間後、Nちゃんの表情は元の柔らかく明るい色に変わり、みんなの輪の中に入っていった。

その日の夜Nちゃんのキャンプ日記には、大きな字でこう書いてあった。

「このキャンプに参加して本当によかった。Tちゃん(アシスタント)、本当にありがとう。」

今年は、

「本当にたのしかった」

「いつもは夏休みの宿題の日記を1行くらいしか書かなかったのに、キャンプから帰ってきたら3ページも書いていた」

「まだ帰りたくなかった」

「バスから降りるなりずーっとキャンプの話をして止まらなかった」
と言った声をたくさんいただきました。

『ステキな仲間ができること』『信頼できる大人がいること』『自然の中でのびやかにいられること』が、キャンプを楽しんでいるのかな？と感じた年でした。

スタッフ 古川 明美

【インプリ発信】アートと自然の真ん中に



西澤 純子

私は学生時代、海やイルカ・クジラの事を学び、東京都御蔵島で野生のイルカと泳ぐドルフィンガイドとして活動していました。卒業後も週末には島へ通い、ガイドを続けながら動物写真家 藤原幸一事務所へ就職。事務所には世界中の写真が所狭しと並び、南極や北極、アフリカや南米と様々な事を学びました。その後、藤原氏の紹介で、約1年間 南米ガラパゴス諸島に国立公園ボランティアスタッフとして滞在し、海洋パトロールを中心に活動。南米の海や動植物、そして異文化の魅力に引き込まれていきました。2009年よりやまぼうしで常勤スタッフとして活動を始め、2013年からは年に数える程度ですが、インプリスタッフとして関わっています。



海と山での活動を経て、現在は画家である夫のアシスタントをしながら、主に写真撮影やWEBデザインの仕事をしています。長野市を中心に活動する長野郷土史研究会の機関誌の写真撮影や長野信用金庫大門町支店のパネルディスプレイのデザイン・写真を担当したり、長野市内の美容室や朝市のホームページ制作をしています。

また、昨年末から今年にかけ、夫がアイスランドの国際アートフェスティバルに招待され、私も同行。現地では夫の制作風景だけでなく、他国のアーティストの制作風景やパフォーマンスの様子を映像や写真で撮影してきました。世界各国よ

り50名近い作家が参加した北限の地の大きな美術展。たくさん刺激を受けて帰国しました。

そして先日、アイスランドで知り合ったパリ在住のフランス人作家2人から長野に来たいと連絡があり、アイスランドでの報告を兼ねたパフォーマンスイベントを開催。会場では私が撮影した写真や映像を展示し、フランス人画家とダンサー、夫が一つのテーマを軸にパフォーマンスを披露しました。

自分がアートに関わるとは思いませんでしたが、実は、アートと自然はとても近い存在だとも感じています。分野が違えど、やまぼうしで学んだ事は今もずっと私の中にあり、常に心を豊かにさせる秘訣を教えてもらったように思います。

「じゅんじゅん、元気してるかい??」インプリさんから突然のご連絡。その瞬間、やまぼうしへ毎日通っていた頃の事を鮮明に思い出します。



●純子の眼 (<http://junko-me.com>)

【参加者紹介!】やまぼうしインタープリター養成講座

長野校の講座には、いったいどんな人たちが参加しているの? という関心にお答えすべく、ご紹介します。

【山田 晶子さん: 34歳、兵庫県出身、長野県木曽郡上松町在住】

◆やまぼうし自然学校を知ったきっかけは何ですか? また、いつ知りましたか?
インターネットで、森林浴のことや、自然に関する講座などを調べていたときに、たまたまたどり着いたような気がします。昨年の春頃に知りました。

◆インタープリター養成講座 受講の動機は何ですか?
やまぼうし自然学校のホームページを見て、書いてあることがとても楽しそうで、わくわくしました。その中でも、野外での活動を通して、自然について楽しく学べ、その後もボランティアとして活動に参加できるなら、なんてよいのだらうと思いました。また、自分の身近にある自然の楽しみ方を知りたいと思ったからです。



アイスブレイク中♪

◆受講の感想やメッセージをお願いします

毎回 3 時間ほどの時間をかけてやまぼうし自然学校に行くのが、私にとっては遠足気分がわくわくすることです。スタッフの方たちの、柔らかい、アットホームな雰囲気がとても好きで、その中から色々な知恵、知識がどんどん出てくるので、いつも感動してしまいます。学んだことをすぐに忘れてしまうことも多いですが、それでも外で活動するのって楽しいなあ。自然っておもしろいなあという気持ちは残っています。デイキャンプで学んだ、竹のハンバーグは、家でも姪っ子甥っ子に披露し、一緒に楽しめました。身近にある自然と楽しく暮ら



ロープワークを学ぶ

していく術を学び、まずは自分の身近な人たちと共有していきたいと思います。

昨年に引き続きご参加の山田さん。
昨年は、サマーキャンプのキャンプアシスタントにも挑戦!!
物腰柔らかく、笑顔と真剣に受講している姿が印象的です!
スタッフ: 後藤 かおり



ピザづくりに夢中!

【参加者紹介！】森を楽しむ講座

東京の講座には、いったいどんな人たちが参加しているの？
という関心にお答えすべく、ご紹介します。



木俣 志木さん：45 歳、
埼玉県志木市出身、長野県松本市在住

◆やまぼうし自然学校を知ったきっかけは何ですか？
またいつ知りましたか？

追々と記憶力が衰える中で、40代で取得しておきたかったものの一つに「森林インストラクター」がありました。来年の試験に備える為、「長野・森林インストラクター・講座」で検索して知りました。今年の3月のことです。

◆森林インストラクターチャレンジコース 受講の動機は何ですか？

受講動機は、森林インストラクターの試験対策ですが、実際に受講する中で学んだ事は、森林インストラクターを実際に体感する事でした。インストラクターをする中での準備は多岐に渡り、案内する方への安全と気配りを中心に、飽きのこない話術、森林インストラクターとしてメッセージをその中でどの様に伝えるのか・・・等です。

◆受講の感想やメッセージをお願いします

私の父は音楽が好きで、高齢となった今でも合唱を楽しんでいます。ピアノにも親しみ、ピアノを弾く姿はサラリーマンであった父の日曜日の見慣れた光景の一つでした。

あまり多くはなかったそのレパートリーの中で私が好きな曲の一つに“オンブラマイフ”があります。イタリア語で「かつてない木陰」と直訳されるこの曲は病で倒れたヘンデルのオペラ復帰作「セルセ」の冒頭で歌われます。愛する女性をプラタナスの木陰への愛情に投影して歌われるこの曲は、木漏れ日やそよ風の心地よさより、身近な自然の中で生きる事への感謝や病の中で復帰を期したヘンデルの魂が感じられて今でもこの曲を聴く度に新鮮な感動を覚えます。

「森林インストラクターチャレンジ」「インタープリター養成」「森めぐりビギナー」「森めぐりステップアップ」の4コース。どのコースも、ねらいに合わせ「自然観察」や「林業体験」、「野外料理」などを取り入れた実践重視型講座。野外での活動を通して受講生同士がすぐに打ち解けあうのも、本講座の大きな特徴です。「森林インストラクターチャレンジコース」は、長野で開催される回もあり、「森めぐりコース」は、首都圏各地の自然をフィールドに、その歴史背景もひも解きながら楽しく学べると人気です。



大塚 淳子さん：61 歳、
東京都大田区出身・在住

◆やまぼうし自然学校を知ったきっかけは何ですか？また、いつ知りましたか？

やまぼうしの存在を知ったのは、新聞の「国分寺崖線シリーズ」の1回目の参加募集の記事でした。もともと“緑”に興味があり、ちょうど「体を動かしたい、できればハイキングとか緑のなかで...」と思っていたときで、「集合場所が近い！しかもランチ付き！」私には、ぴったりはまった企画でした。

◆森めぐりビギナーコース 受講の動機は何ですか？

それ以来、「歩くこと＋自然観察」が楽しく、観察会に参加させていただきましたが、日程の都合で断念することが多かったので「森めぐりコース」は“都内”で“森めぐり”の言葉にも惹かれ、曜日が決まっていた参加しやすく、3年通わせていただきました。今年はどんなふうにステップアップできるか、楽しみに通っています。

◆受講の感想やメッセージをお願いします

今、近所の公園に行くと、大好きな香りがしています。観察会に参加して初めて知った“カツラ”です。黄葉してから香るのだと思いこんでいましたが、青々とした葉の時から香るのですね。こんな発見が、楽しいです。

観察会で教わったことは、“右から左”も多いのですが、これからもいろんな“発見のタネ”が増えることを期待して、楽しみに参加させていただくつもりです。毎回、いろいろな工夫で楽しませてくださる講師の先生方やスタッフの皆さまに、感謝しております。

おもしろキャンプ飯！

決して特別な材料を使っているわけではないけれど、味だけでなく、目でも楽しめる、子ども達が作ったキャンプ飯！！みなさんも参考にしてみてもいい？



A



B



C



D

～・～・～・会員と読者の交流ステージ～・～・～・～・

だいず・こめ・こむぎ おいしい安全、スローフードプログラム

ここ何年も、一般対象の主催イベントで盛況なのは「食」に関するものが多く、キノコ狩り、山菜採り、ジビエ…。体験することはもちろん、食材のおいしさや参加者の皆さんと賑やかにいただく楽しさが一番の要素だと感じています。このイベントにフル稼働しているのがやまぼうし自慢の手作り味噌。2013 年より、原料の大豆は会員の大川さんが栽培されたものを提供いただいています。この大豆は栽培期間中に農薬や化学肥料の使用はなく、収穫はやまぼうしスタッフも参戦して手作業で刈り取り、手回しの脱穀機で丁寧に取入れたものです。



今年度よりは体験学習のデイキャンプと夏のキャンプで、大きな羽釜で炊くご飯のお米も使わせていただきました。このお米は、前年の収穫の頃にレンゲの種を撒き、春先に美しいレンゲ畑を耕して土と混ぜ、肥料としているそうです。もちろんはぜ掛け米。このお米は、長野県で特に味と品質が優れたものとして「長野県原産地呼称」制度に認定されています。

県産のお米のうち、農薬と化学肥料の使用を厳しく制限して栽培され、さらに米の食味の専門家による官能審査に合格したお米なのです。通常は殺菌や殺虫のため年に数回農薬を使うのですが、大川さんのお米は、苗の頃に殺虫剤と除草剤を1回ずつ行うのみ。



さらにこの秋よりは、小麦粉も提供していただけることになりました。すでにパン屋さんに卸されているとのことで、パンを膨らませる成分のために肥料は施しているが、農薬はゼロ。やまぼうしでは体験学習の中の里山スローフードプログラム（青竹クーヘン、窯ピザ、おやき作り）で一部使用させていただきます。森林整備で出た木材を燃料とし、地域の安全な食材を提供します。生きるエネルギーとしての食を考えながら、体に安全な食材を味わい、普段の食生活を省みる機会ともなるプログラムとして実施していきます。



一番右が大川昌伯さん

株式会社ブラセス 代表取締役 大川昌伯さん
松本地域で農業生産法人を経営。長野県のエコファーマー認証を受けています。（エコファーマーとは、たい肥等を使った土づくりと化学肥料・化学合成農薬の使用量を低減させる取組を一体的に行う計画を立て、その計画が県知事に認められた農業者のことです。）
大川さんいわく、穀類を育てるのも食べるのも大好き。この頃は玄米の美味しさにこだわっています！



取材・文 保母 裕美

首都圏イベントレポート

～横浜山手自然観察会～

森林インストラクター

ひさの まさき
久野 正樹



「神奈川シニア自然大学校」事務局所属で、横浜在住の久野正樹（65歳）です。「やまぼうし自然学校」との共催で公開講座「ブラフが育てた横浜山手」を6月に企画させていただきました。

3年前の秋に、自由人に片足を突っ込み、何をしようかと考えている矢先に、神奈川シニアの「ビギナー講座」募集があり、深い考えもなく飛び込みました。幅広く自然を学べて、野山を駆け回っていた青春時代を思い出しました。半年で卒業し、その後もお手伝いをしながら、やまぼうし自然学校の「森を楽しむ講座」の、「都内森めぐり」と「インタープリター養成講座」を受講しました。

やまぼうしの講師には「森林インストラクター」が多くおられました。自然だけでなく歴史・文化を含めた幅広い見識に敬服しました。「森林インストラクター」にチャレンジしようとテキストを見て、その深く広い範囲に呆然となりましたが、何とか合格できました。両学校を通しての、数々のフィールド体験を素直に表現できたのが良かったと思います。

私は、都会生活が長く、身近なところで自然をどう感じていけるかを考えるこの頃です。昔、読んだ「アーバンアウトドアライフ」や横浜市の「花鳥風月のまちづくり」という報告書には、都会と自然との調和生活が述べられており、共感しているところです。



このたび、公開講座のテーマ「ブラフが育てた横浜山手」で、その思いを実現する機会をいただけたと思っています。横浜山手は、エキゾチックな洋館と都市公園が魅力的で、多くの方が訪れています。見慣れた風景も、公開講座で、視点を変えると新しい何かが見えてきます。

山手は、明治の開国後、外国人居留地として開発されました。海崖上であり、外国人は大変苦勞して、道路から街並みを作り上げてきました。それを象徴し、外国人は「The Bluff（ブラフ＝崖）」と呼びました。急斜面の土留め石の擁壁を「ブラフ積」といいます。山手の美しい街並みと公園が現存しているのも、「ブラフ積」の力です。外国人は憩いの場として「山手公園」を造り、テニスを始め、ヒマラヤスギ、バラを植えました。学校・ベーカリー・クリーニング店・煉瓦工場・ビール工場・競馬場なども、日本人には珍しいものでした。こうした外国人の活動が、文明開化として日本人に伝承されてゆきました。



当時の情景を思いうかべながら、山手の丘を歩き、元町商店街をぬけ、楽しいランチタイムを過ごしました。これからも、幅広く都会の中の自然発掘活動を広げてゆきたいと思います。

おもしろキャンプ飯！の答え

- A. アートなハンバーグ
- B. フィッシュピザ
- C. チビピザ
- D. 具たくさんスープ

地域の子どもたちにこそ、身近な自然の中で遊んで欲しい。そんな思いが込められた【長野校 森でもりもり遊び隊】と【埼玉校 フォレストキッズ】。この夏も、森、川、野っばらで思いきり遊んだ子どもたち。仲間と、自然と、一期一会の瞬間がつまった夏は、緑いっぱい笑顔いっぱい！

【長野校】森でもりもり遊び隊☆1 泊キャンプ

今年度から、土曜コースと日曜コースの2コースで開催の遊び隊。それぞれ8月30・31日、9月5・6日に、年に一度の1泊キャンプを楽しみました。



土 森遊び ターザンロープ



土 達人の火おこし



土 樹の上ランチ



日 肝だめし 貞子役



日 森でランチ



日 竹橋づくり 真剣に聞く



土 サンドイッチ カブリ



土 先輩隊員の道具説明

【埼玉校】フォレストキッズ



5月24日 初回 緊張で会場に入れない子もいましたが・・・午後には^o^



アイスブレイクゲームで笑顔！



何見つけたの？



見晴らしサイコー！！

6月21日 みんなで力を合わせ富士山登山 所沢に富士山？？？



ゲームは楽しいね！



キレイなトンボ発見



頂上目指し 富士山登山

7月12日 集合時間にはすでに30℃超え 電車に乗って川遊び



どんな生き物がいるのかな



何をつくっているのかな



全身ずぶ濡れ、楽しいね！

夏・体験学習

5月から7月にかけてグッと数が増える林間学校や修学旅行の体験学習。菅平高原の短く激しい季節がひと段落し、視線を上げるとすっかり秋の空。爽やかな風にふかふかのひつじ雲。心穏やかになるいい季節。ホッと一息、この数か月間が走馬灯のように頭をめぐる。

この期間、後半は雨がよく降った。気温が低い日が続く、雨天対応プログラムや会場の対策を考えてはいてもやはりドキドキする。子ども達は寒くないだろうか、雨に負けずに楽しんでもらえるだろうか・・・そんな中でも、一緒に活動できた児童・生徒数は昨年とほぼ変わらず。5～8月の4か月で計93校、約10,200人（2013年5～8月 計90校、約10,100人）。たくさんの笑顔に出会い、素敵な発見に感動した夏。

そしてこれから始まる高原の秋。
山頂から少しずつ降りてくる黄色や赤の絨毯。また夏とは違った活動に、9月は12校、そして10月は7校が来管予定。
少しゆったりとした気持ちで自然の中で活動する子どもたちに会えるのが待ち遠しい。

佐藤 美央



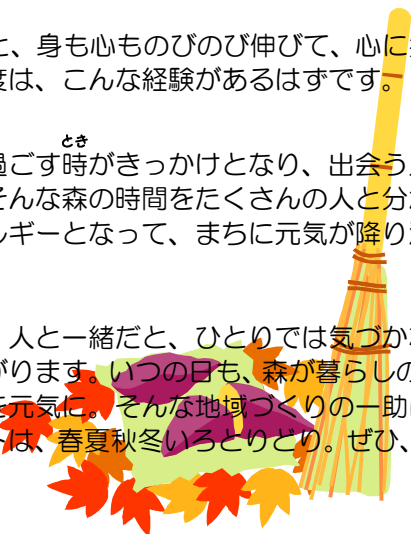
イベント情報（主催）

秋・冬の休日は、森でのんびり過ごしませんか？

森で過ごすと、身も心ものびのび伸びて、心に笑顔の風が吹き抜ける。だれもが一度は、こんな経験があるはずです。

私たちは、森で過ごす時がきっかけとなり、出会う人同士が笑顔で元気になるような、そんな森の時間をたくさんの人と分かち合いたい。森の力は、人のエネルギーとなって、まちに元気が降り注ぐ、そう信じています。

自然豊かな日本。人と一緒だと、ひとりでは気づかない森の恵みに出会うチャンスが広がります。いつの日も、森が暮らしのパートナーとなり、人がつながり人を元気に。そんな地域づくりの一助になりたい。
私たちのイベントは、春夏秋冬いろいろ。ぜひ、お出かけください。



♪初めての親子キャンプ♪（長野校）

「子どもにキャンプを体験させたい！・・・でも、どうしたらいいの？」
そんな親子にぜひ！秋の景色と共にのんびり過ごしましょう。

日時 11月15日（土）～16日（日）
9時半集合
会場 東御市芸術むら公園キャンプ場
（テント泊またはコテージ泊）
参加費 大人も子どもも 1名 7,500円



♪米子大瀑布へ秋探トレッキング♪（長野校）

静寂な谷に轟音をたてて流れ落ちる夫婦滝
日本の滝100選にも数えられる大瀑布へ
自然観察を楽しみましょう！

日時 10月11日（土）9:00～16:30
集合 やまぼうし自然学校 事務所
参加費 おとな 3,500円、小中学生 1,500円



♪山の子たちの海を知ろう！キャンプ♪（長野校）

海の宝物探し、野外料理、波音＆星空テント泊などなど

日時 11月1日（土）～3日（月）
対象 小学1年生～6年生
参加費 23,000円※子どもゆめ基金女性事業
募集人数 20名 先着順
申込開始 9月8日（月）



♪リスクマネジメント研修会♪（長野校）

日時 10月30日（木） 無雪期の登山技術講習
12月21日（日） 野外プログラムリスク講習・救急実技
3月15日（日） 雪上での登山技術
時間 10:00～15:00
場所 菅平高原
対象 自然体験活動従事者および活動に興味のある方
参加費 2,000円/回
募集人数 各回20名 先着順

